新型コロナウイルス感染症流行にともなう海外在住日本人の状況

関西大学 社会安全学部

近藤誠司・土田昭司

2020.11.22. 日本リスク学会＠ZOOM

問題意識

In the Battle Against Coronavirus, Humanity Lacks Leadership

TIME

Yuval Noah Harari
Mar 15, 2020

IDEAS

Noah Harari is a historian, philosopher and the bestselling author of Sapiens, Homo Deus and 21 Lessons for the 21st Century.

Many people blame the coronavirus epidemic on globalization, and say that the only way to prevent more such outbreaks is to de-globalize the world. Build walls, restrict travel, reduce trade. However, while short-term quarantine is essential to stop epidemics, long-term isolationism will lead to economic collapse without offering any real protection against infectious diseases. Just the opposite. The real antidote to epidemic is not segregation, but rather cooperation.

Secondly, history indicates that real protection comes from the sharing of reliable scientific information, and from global solidarity. When one country is struck by an epidemic, it should be willing to honestly share information about the outbreak without fear of economic catastrophe – while other countries should be able to trust that information, and should be willing to extend a helping hand rather than ostracize the victim. Today, China can teach countries all over the world many important lessons about coronavirus, but this demands a high level of international trust and cooperation.

new norm

with corona

post corona

new normal

inter corona

Something X
（something new?）

対象と方法

関西大学校友会
海外支部　21
北極海
北極海
フィンランド
スウェーデン
ノルウェー
ロシア
イギリス
ポーランド
ドイツ
ウクライナ
フランス
イタリア
スペイン
トルコ
カザフスタン
モンゴル
中華人民共和国
韓民国
日本
イラク
イラン
アフガニスタン
パキスタン
インド
アルジェリア
リビア
エジプト
サウジアラビア
マリ
ニジェール
スーダン
チャド
ナイジェリア
エチオピア
ケニア
コンゴ民主共和国
タンザニア
アンゴラ
ナミビア
ボツワナ
南アフリカ
マダガスカル
インド洋
インドネシア
パプアニューギニア
オーストラリア
ニュージーランド
南極海
北太平洋
南太平洋
北大西洋
南大西洋
カナダ
アメリカ合衆国
メキシコ
ベネズエラ
コロンビア
ペルー
ブラジル
ボリビア
チリ
アルゼンチン
グリーンランド
アイスランド

Googleform
2020年8月1日~8月23日(JST)

新型コロナウイルス感染症　在外邦人調査

COVID-19の災厄がまさに全世界を揺るがしています。本調査は、日本列島を離れて暮らしているみなさまに、在外邦人として感じているストレスや違和感、もしくは気付きや展望などをおたずねすることによって、貴重な経験の蓄積を「共有知」に替えていくことを企図しています。

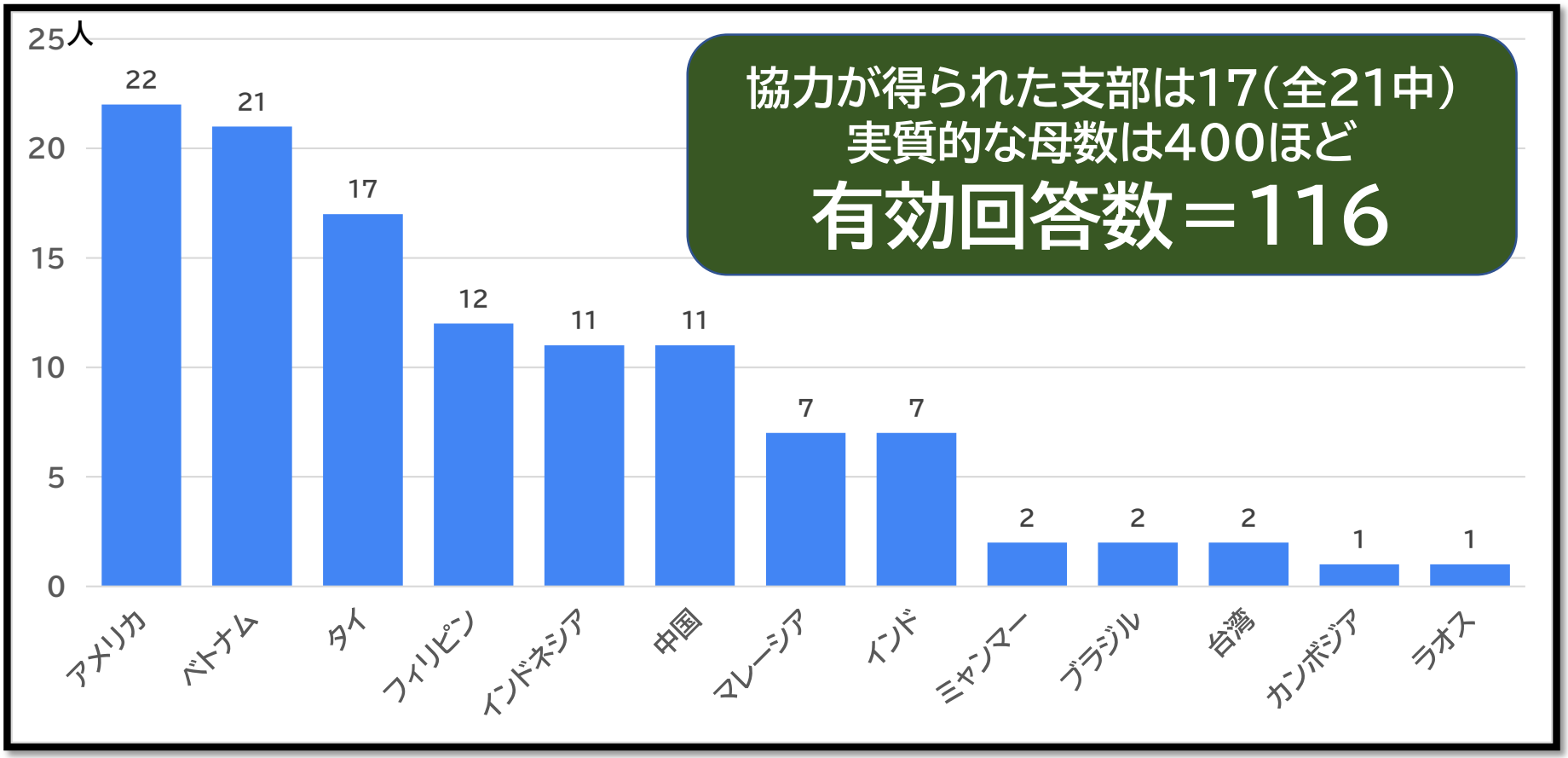
設問は、全部で17問です。自由記述欄が多く、いくぶん回答にご負担がかかるかもしれませんが、ご協力たまわれますと幸甚です。なお、誤って送信ボタンを押した場合でも、こちらで最終的に整合をとることができますので、ご安心ください。最終的な完成版をあらためて送信いただければと思います。文章（テキスト）をワードファイルなどで作成してから、コピー＆ペイストしていただくと作業がよりスムーズに進むものと存じます。

ご疑念の点などございましたならば、本調査の窓口（関西大学社会安全学部・近藤誠司准教授 kondo.s@kansai-u.ac.jp）までご連絡ください。回答期限は、8月23日（日）深夜23時59分です。どうぞよろしくお願い申しあげます。

【2020年度 関西大学教育研究緊急支援経費［研究代表者：土田昭司（社会安全学部）］による調査で関西大学校友会事務局にも相談済です。個人情報の取り扱いには十分注意し、データは学術目的に限定して使用します。分析した結果は、関西大学社会安全研究センターが発行する学術誌「社会安全学研究」などで年内に公表すると共に、国内外の学協会において公表する予定です。】

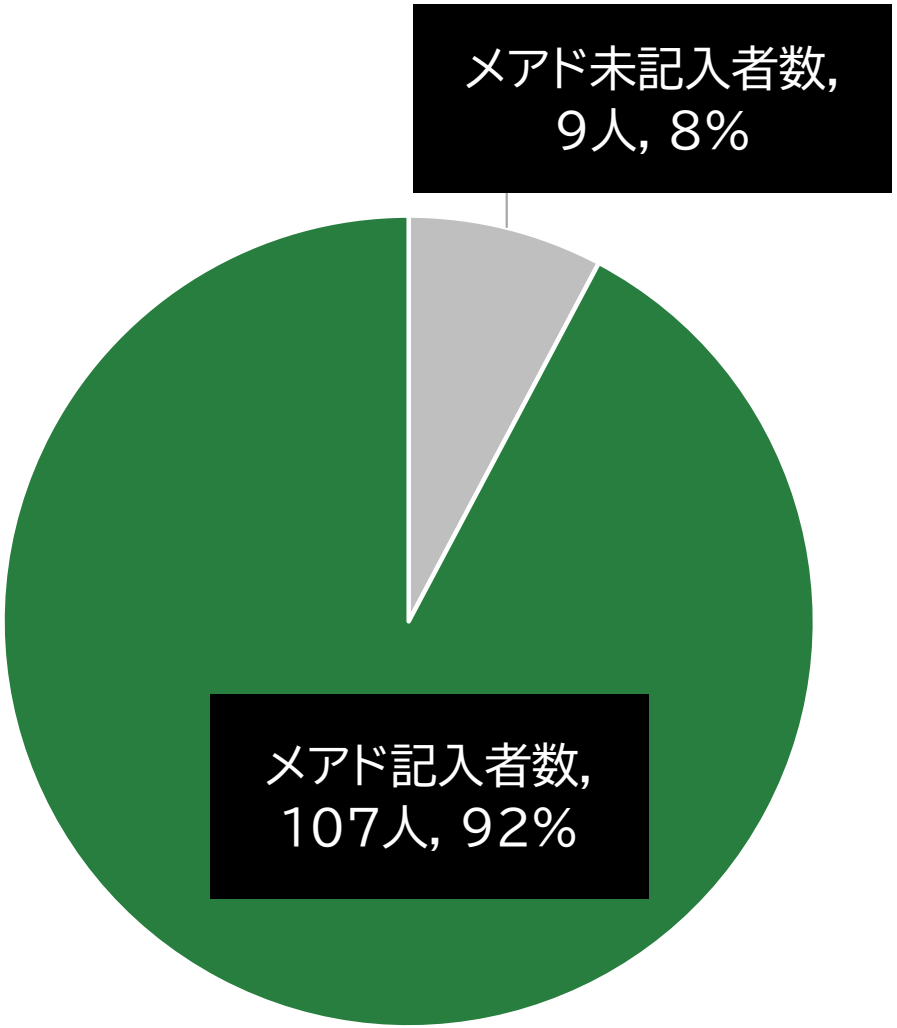
結　果

駐在場所



協力が得られた支部は17(全21中)
実質的な母数は400ほど
有効回答数＝116

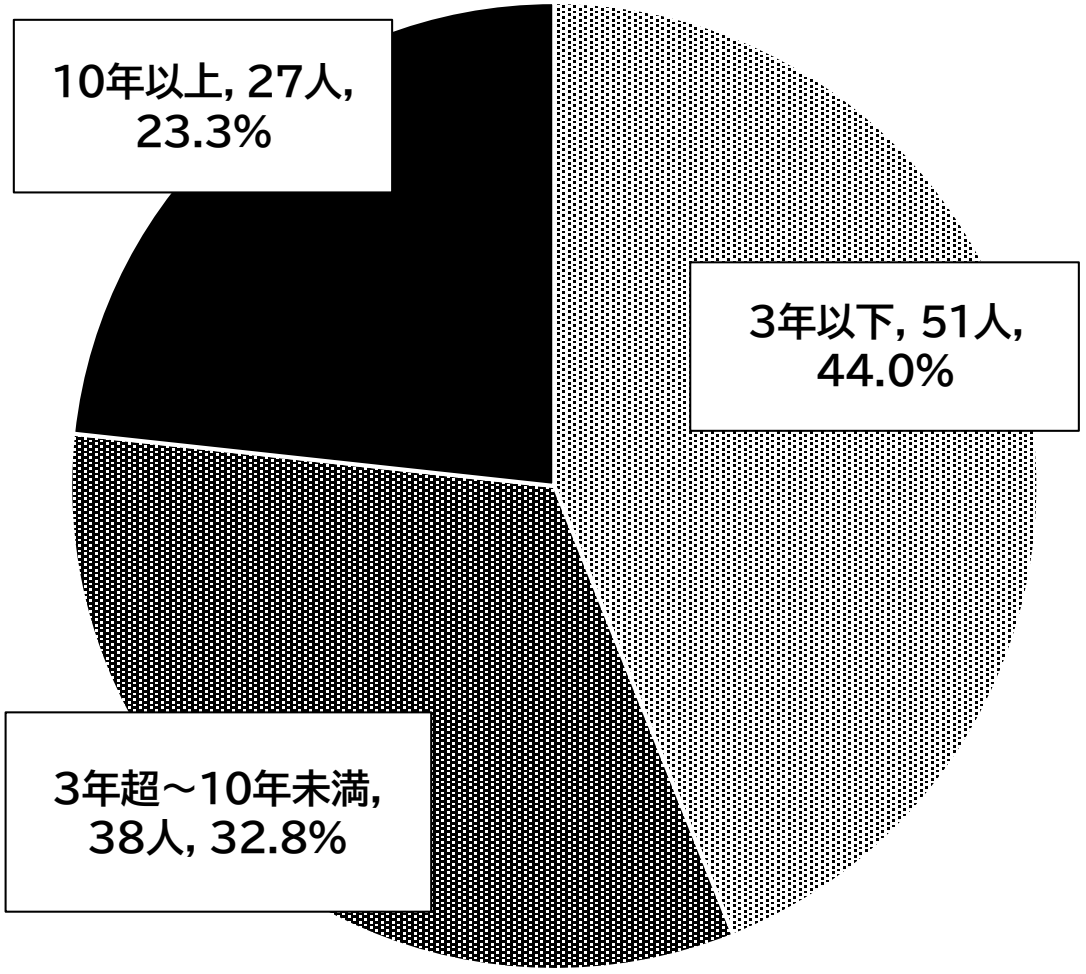
ご協力ありがとうございました。後日、調査結果を「速報」としてご送付させていただきますので、もしよろしければ、メールアドレスをご記入ください。



n=116

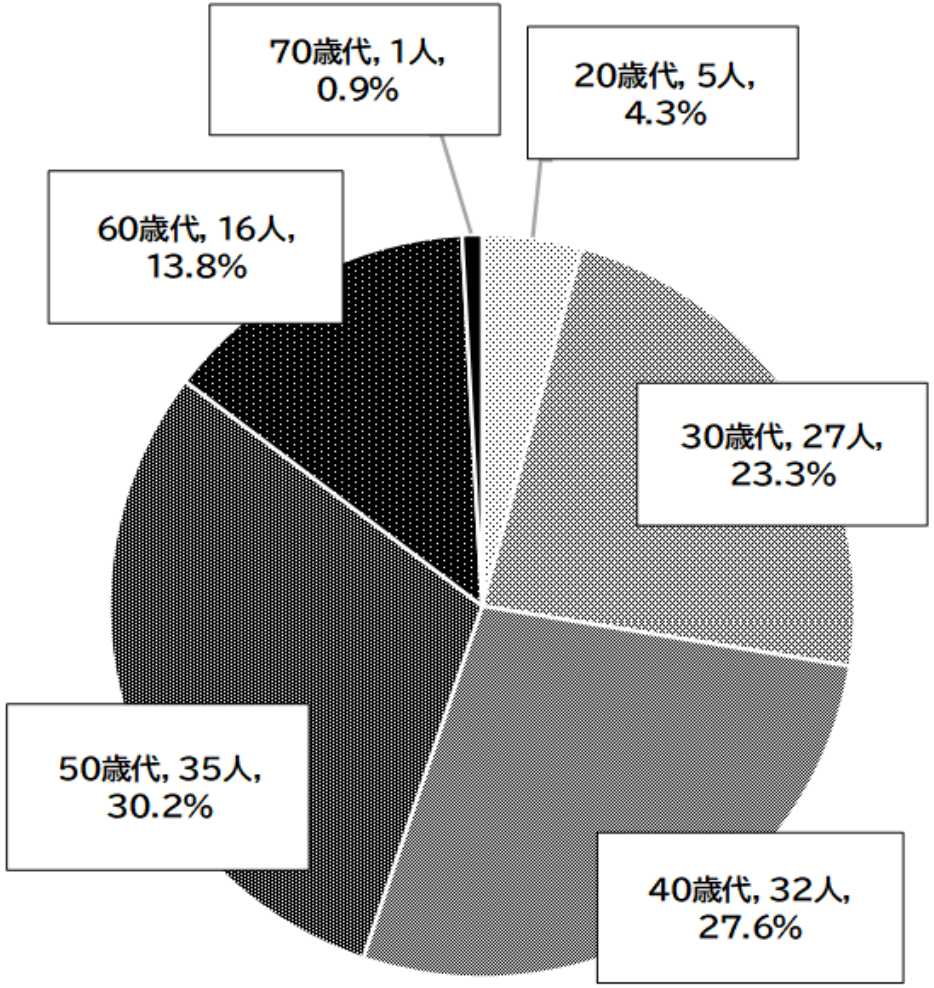
設問	質問内容	形式
1	駐在・在住している国（地域）の名前	自記式
2	駐在・在住期間の通算年数（概数）	数字を記入
3	所属している校友会の支部名	自記式
4	世代	多肢選択式
5	出身学部・学科	自記式
6	駐在地の国（政府）のコロナ対応策に対する評価（百点満点で採点）	数字を入力
7	上記の理由	自由記述
8	日本の政府のコロナ対応策に対する評価（百点満点で採点）	数字を入力
9	上記の理由	自由記述
10	駐在地の国（政府）の対応策の良い点	自由記述
11	駐在地の国（政府）の対応策の良くない点	自由記述
12	コロナ禍で差別を受けた経験や嫌な思いをした経験はあるか	多肢選択式
13	あると回答した人はそのエピソード	自由記述
14	駐在地の人がストレスに感じていること	自由記述
15	あなた自身がストレスに感じていること	自由記述
16	コロナ対応に関して駐在地の地域社会の優れたアイデア・工夫	自由記述
17	コロナ対応に関して駐在地から日本が学ぶべきこと	自由記述

滞在期間



n=116

回答者の年齢

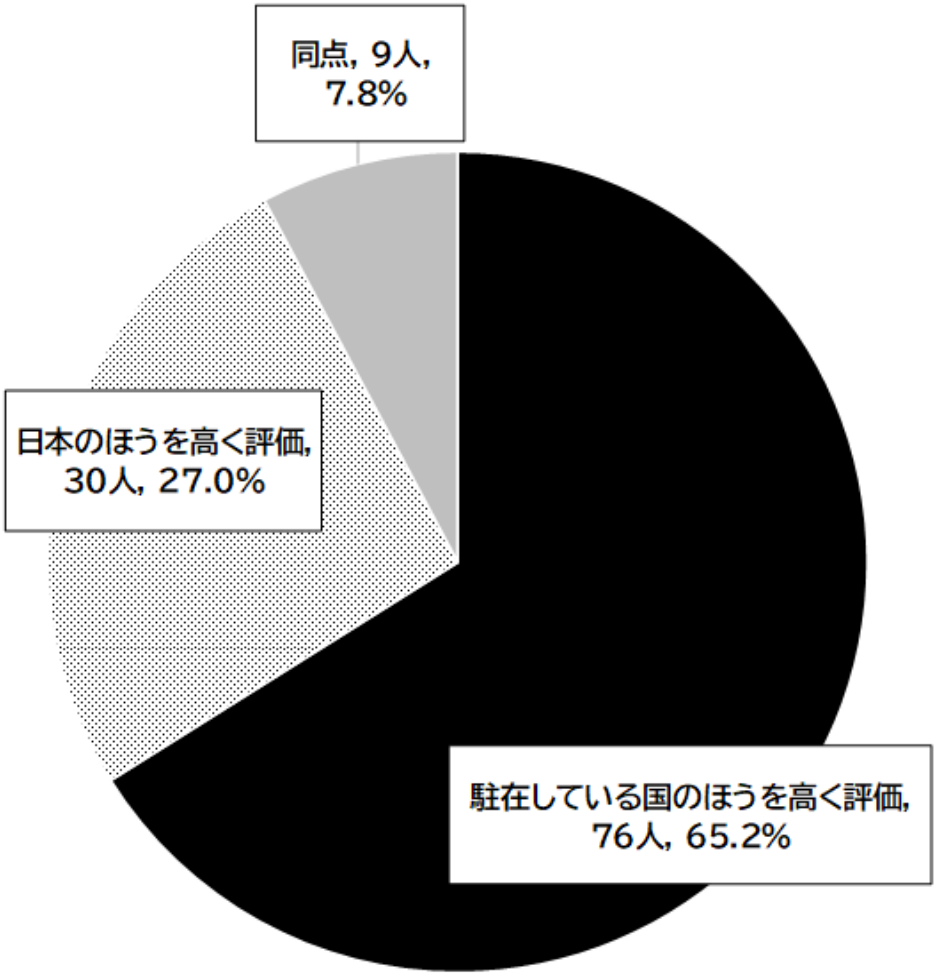

70歳代, 1人, 0.9%
20歳代, 5人, 4.3%
60歳代, 16人, 13.8%
30歳代, 27人, 23.3%
50歳代, 35人, 30.2%
40歳代, 32人, 27.6%

n=116

政府の対応に対する主観得点

	駐在国	日本
平均値	67.9	44.9
最大値	100	90
最小値	10	0
中央値	72.5	50.0
最頻値	90.0	50.0
標準偏差	24.9	21.6
n	116	115

政府の対応に対する主観得点



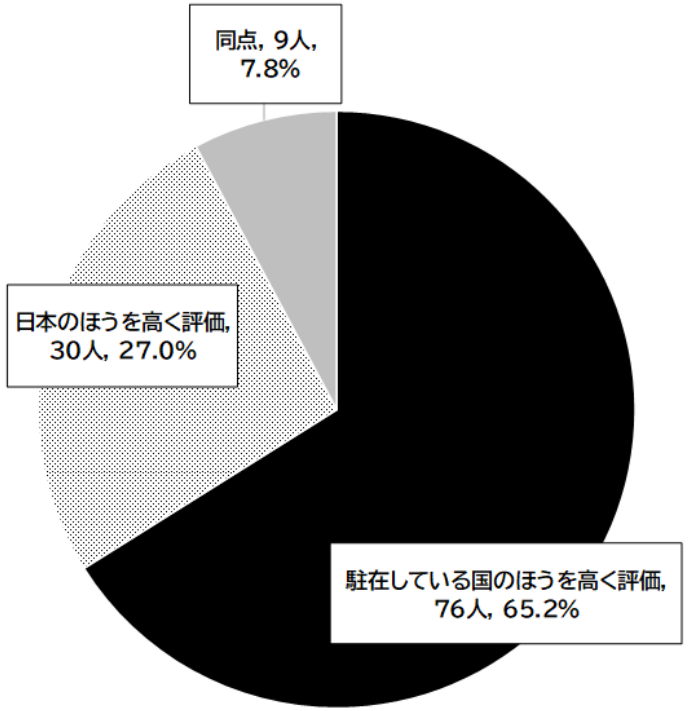
n=115

政府の対応に対する主観得点二国間スコア差（駐在国ー日本）

	回答数	スコア差の平均値
アメリカ	22	6.2
ベトナム	21	51.2
タイ	17	47.2
フィリピン	12	-10.8
インドネシア	11	1.4
中国	11	25.5
マレーシア	7	45.0
インド	7	-21.4

政府の対応に対する評価軸

- 日本は対応が他国より遅い
- リーダーシップが見えない
- 日本は対応があまい（→自粛）
- 日本は広報が下手
- 日本は責任の所在が曖昧
  国と自治体がちぐはぐ
- 結果として感染者が増加
- 日本で死者が少ないのは
  単なる幸運に過ぎない
- 海外在留邦人に対する
  支援策が見えない
- 日本は人命より経済優先
- アベノマスク!? Go to travel!?
- 日本はデジタル後進国



居住地におけるコロナ対策に対する評価軸

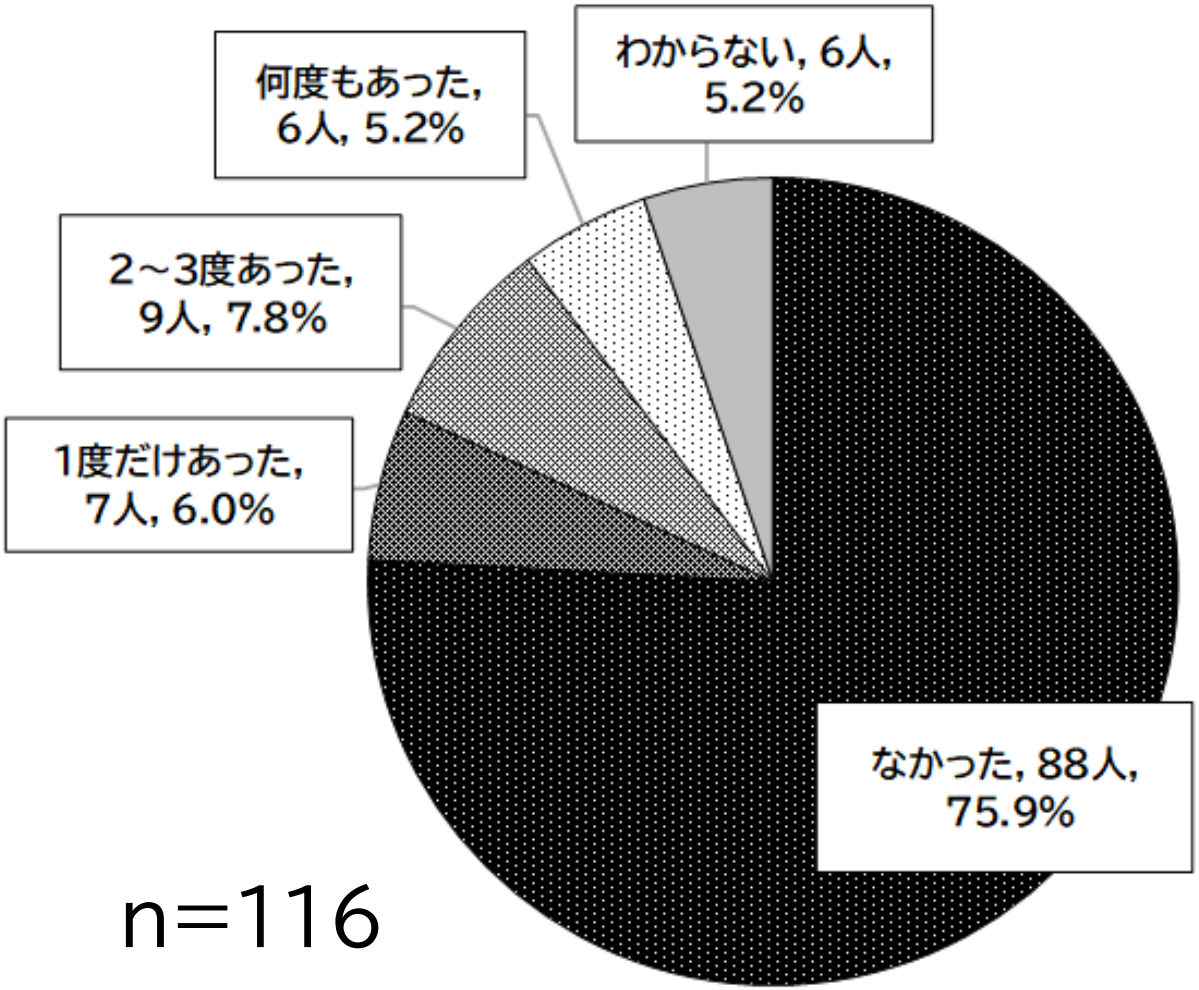
GOOD

- 法的拘束力・徹底（罰則・軍の関与）・迅速性
- 強いリーダーシップ
- IT・アプリ等の活用、行動履歴のトレース
- 医療従事者に感謝・エール（インド）
- Donationの気風（フィリピン）
- ゴトンヨロンの精神（インドネシア）
- 集合住宅で助け合い（アメリカ）
- 排ガス対策のマスク文化（ベトナム）

BAD

- 唐突・いきなり・場当たり的・五月雨式
- 強すぎるリーダーシップ（逮捕・射殺）
- リーダー同士の対立激化
- 国民の科学的素養が無い、モラルの低さ
- もともと医療が脆弱、衛生観念が弱い
- 貧富の格差、VIP優遇
- バザールや礼拝堂などが密のまま
- 外国人に対する配慮がない

被・差別的な経験の有無



n=116

被・差別的な経験

日本人がコロナをインドネシアに持ち込んだとして差別を受けた

タクシー拒否【ベトナム】

エレベーターに乗る時に一緒に乗らない。スーパーで距離を取られる【インドネシア】

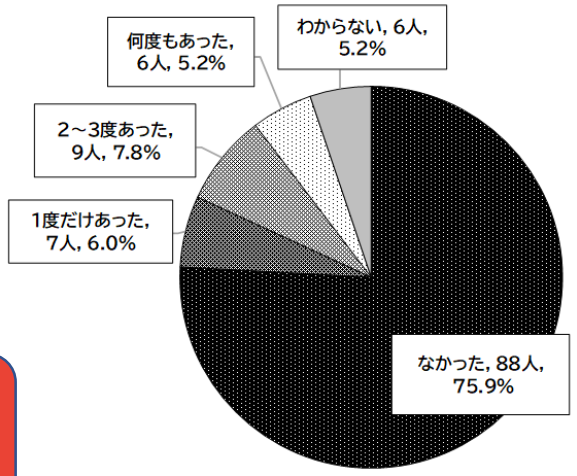
中国人と思われた【インド】

エレベーター内の同乗者が日本人だと分かった瞬間に同乗拒否。レストランでのあからさまな席移動【ベトナム】

エレベータを降りる【タイ】

客先訪問の際、日本人というだけで嫌な顔をされた【タイ】

エレベーター同乗拒否【インド】



直接的な暴力や暴言はないが、国のトップがコロナウイルスのことをChina Virusと発言しており、アジア人としては非常に不快感を覚える。また、在外邦人の中にも同じように発言しており、間接的に差別をしている、受けていると感じている【アメリカ】

取引先への入場を日本人という理由だけで断られた。パスポートを見せ「1月以降タイから出国していない」旨を伝えたが入場できなかった【タイ】

アジア人というだけで、違う扱いを受ける。何がという具体的な事例ではなく、人が見る目、対応の仕方、目の合わせ方、そういった類。ニュースで差別を受けている人を見て、自分のことのように感情に差し障ることがある【アメリカ】

被・差別的な経験　クロス（世代・滞在歴）

	カテゴリー内のサンプル数	被差別的な経験がなかった（実数）	被差別的な経験が無かった（割合）
20代・30代	32	24	75.0%
40代・50代	67	51	76.1%
60代・70代	17	13	76.5%

	カテゴリー内のサンプル数	被差別的な経験がなかった（実数）	被差別的な経験が無かった（割合）
滞在期間3年以下	51	39	81.3%
滞在期間3年超10年未満	38	27	64.3%
滞在期間10年以上	27	22	84.6%

心理的なストレス

健康とポジション

- 自分が感染するのではないか
- 持病がある
- 日本の代表として駐在している自分が感染したら・・・
- 感染したらしっかりした医療が受けられない強制帰国かも

暮らし

- 経済の問題・収入減・資金繰り雇用の問題業績不振
- 生活全般が不自由買い物・娯楽・会食などができない
- こどもたちの教育が遅れる

在留邦人ならではの事項

- 移動規制外出できない
- 日本でまだ感染が拡大している
- 帰国できない再入国困難
- 家族に会えない冠婚葬祭に出席できない

社会

- 隣国から感染者が入ってくる（日本人こそリスク）
- 治安の悪化

全般

ゴールが見えないこと

アイデア・工夫・日本が学ぶべきこと

政府に対する信頼
ベトナム

リーダーシップ
マレーシア

情報公開
タイ

アプリ・QRコード
中国・タイ

タイのデリバリー
ベトナムのバイク便
中国の宅配・出前・通販

小区（マンション敷地）
中国

町内会（バランガイ）
フィリピン

近隣との互助の精神
ベトナム

相互扶助モデル
インドネシア

おもいやりボックス
喜捨の仕組み　タイ

テレワーク／フレックス
タイ

家族との時間や人生
の過ごし方/アメリカ

やさしさ
ブラジル

許容精神
タイ

明るさ
カンボジア

考　察

new norm

with corona

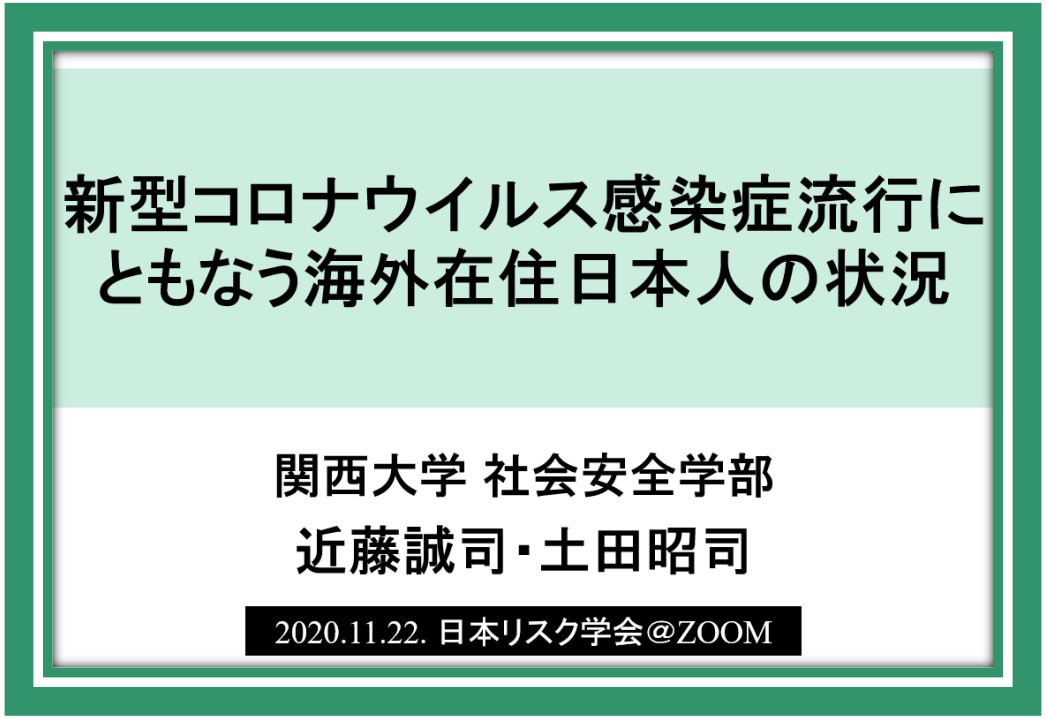
post corona

new normal

inter corona

Physical distancing
Social connecting

Before COVID-19

ご清聴ありがとうございました

本研究は、2020年度関西大学教育研究緊急支援経費[研究代表者：土田昭司（社会安全学部）「新型コロナウイルス感染症とその対策にかかる社会における情報流通の問題点と市民の行動」]の助成を受けている。関係各位に感謝を申し上げる。